

植物

種名	ダイサギソウ (<i>Habenaria dentata</i> (Sw.) Schltr.)
指定の理由	園芸のための採取及び草地の管理放棄により絶滅のおそれがある。
形態	多年草。地中に楕円状の球形がある。葉は4~5個につき広披針状で下部に集まる。青味のある緑色で、縁は半透明な縁取りが見られる。9月頃、茎の先に白色の花を穂状に多数つける。唇弁は3裂し、中裂片は線形、側裂片は開き、縁に細かい鋸歯がある。
生息分布状況	高知県内では数箇所記録されているが、現存は東部と西部のそれぞれ1箇所でのみ確認されている。里山の草地に生育する。
種の存続を脅かす要因	園芸採取・草地の管理放棄
保護に関する指針	県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の採取等を禁止するものとする。ただし、草地の維持管理において当該種を傷つけることは、この禁止には当たらないものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR(絶滅危惧 I A類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少 ・生育地の環境が著しく悪化若しくは消滅しつつある種 ・商品価値や希少性の高さから個体維持に支障を来す採取対象種



写真提供: 高知県立牧野植物園